

アーティスト・プロフィール

【 sacra 】 8月4日(木) 出演

1999年、名古屋でバンド結成。“日本を代表する”という意味を込めて「さくら」と命名。ストリートとライブハウスを中心にライブ活動を開始。インディーズでリリースしたマキシシングルが名古屋と東京のチャートでベスト10にランクイン。2001年に初の全国ツアーを行う。その後も、シングル、アルバムをリリース、ライブツアーやイベントで活躍中。

【 大野真澄 】 8月5日(金) 出演

ボーカリスト・作詩作曲家。1949年愛知県岡崎市生まれ。キッド兄弟商会(現・東京キッドブラザーズ)に所属、舞台「ヘアー」出演を経て、'70年にガロ(GARO)を結成。そのボーカルとして「学生街の喫茶店」他数々のヒット曲を発表。解散後は主に音楽ディレクターとして活躍。'90年代末からは意欲的なソロ活動を再開して注目の存在に。最新オリジナルCDには「平凡なこと」がある。

【 『ヒロシマ60』コンサート同時中継 】 8月6日(土)

唯一の被爆国である日本、そしてヒロシマ。日本人として忘れてはならない8月6日という日において、「今、一人一人ができること」をテーマに広島で開催される「ヒロシマ60」コンサート(出演:かぐや姫、森山良子 他)を『愛・地球博(愛・地球広場)』というステージ映像を通して、より多くの人々、参加国へ広く訴求したい。『世界平和』の精神をより深く訴求し、具現化できる手段として大きな意義がある事だと思い、世界に向けて発信します。

【 辛島美登里 】 8月7日(日) 出演

鹿児島県出身。国立奈良女子大卒業後、ソングライティングの勉強を経て、作家として活動を開始。永井真理子をはじめ、多くのシンガーに楽曲を提供。その後、才能が認められ、アーティストデビュー(FUN HOUSE)。アルバムリリースごとの全国コンサートツアーを実施。それに加え、93年からは都内を中心に年末のクリスマスコンサートを実施。好評を呼ぶ恒例の行事となり現在も続けている。1995年東芝EMI TMファクトリーへ移籍。近年は、CFイメージソングなどへの起用も増え、自作詞曲及びのびやかなヴォーカルがOL層を中心に、根強い支援を受けている。

【 堂島孝平 】 8月8日(月) 出演

新世代ポップミュージックの旗手。「卓越したメロディーメイキング」と「キラキラしたヴォーカル」で、シティポップスの新しい夜明けに向けて高速前進中。1995年、18歳でデビュー。Pops~Soul~AORをベースにしたポップミュージックの新たな作り手としてその才能を開花させ、次世代の音楽シーンを担う期待すべきアーティストのひとりとして認知されていく。フジテレビ「堂本兄弟」レギュラー出演などの新しい挑戦で、ファン層は上に下にさらに拡大している。

【 浅野 祥 】 8月9日(火)、10日(水)出演

平成2年3月生まれ。現在15歳中学3年生。もの心ついた頃より三味線に興味を持っており、常に三味線を弾くポーズをとっては民謡を口ずさんでいた。3歳6ヶ月で和太鼓を始め、5歳の時おじいちゃんの影響で三味線を手にし本格的に津軽三味線を始める。8歳の時、青森県弘前市で開かれた津軽三味線全国大会に史上最年少で出場し、15歳以下の部で優勝。翌年同大会一般16歳～67歳の部に出場し連続優勝した。様々なイベントにおいてその腕前を披露をし、平成16年ついに14歳にして津軽三味線全国大会の最高峰であるA級チャンピオンとなり、同大会の最年少記録を更新する。現在、全国的にも注目を浴び、テレビ・ラジオで取り上げられている中学生。

【 アメリカザリガニ、Over Drive、ラインバック 】 8月11日(木)出演

別紙広報資料2をご覧ください。

【 JAYWALK 】 8月12日(金)、13日(土)出演

1980年、JAYWALK結成。翌年、デビューアルバムを発表。1988年頃から、様々CFソングとして楽曲が起用される。1991年7月、シングル「何も言えなくて・・・夏」をリリース。じわじわと反響を呼び、一躍話題となる。1992年、第25回日本有線大賞 有線音楽優秀賞受賞、第34回日本レコード大賞 ゴールドディスク賞を受賞する。毎年、コンサートツアーを行いながら、テレビ・ラジオへの出演も行っている。近年ではメンバーがそれぞれソロ活動を行うなど、進化し続けるロックバンド。

【 木村 弓 】 8月15日(月)、16日(火)出演

高校生時代にアメリカへ留学をし、高校を経てカリフォルニア州立大学に進学をし、ピアノを専攻する。帰国後、声楽家を志望するが脊髄を害し歌を一時断念。再起を模索する中で、癒しや祈りに関わる歌に目覚める。1988年、ドイツの思想家シュタイナーの人間観に共感した人たちによって考案された堅琴ライアーと出会い、独自のスタイルの弾き語りを確立。1991年、アルバム「銀のしずく」(自主制作盤)をリリース。

2001年、宮崎駿監督作品「千と千尋の神隠し」の主題歌「いつも何度でも」を作曲して歌う。同曲は日本レコード大賞金賞を受賞。

2002年、第56回毎日映画コンクール音楽賞、日本アカデミー賞主題歌賞受賞。

【 日野賢二&上間善一郎 】 8月25日(木)出演

日野賢二 : ブラックミュージックを、SOUL, R&B, JAZZ、FUNKなどジャンルに囚われず色々な角度から表現するベーシスト。世界的トランペッター日野皓正の次男として生まれる。1975年よりニューヨークに移住。9歳でトランペット、14歳でピアノ、ドラムを始め、高校はミュージック&アーツでジャズ・フュージョンを学ぶ。16歳でベースに転向、17歳の時にジャコ・パストリアスに師事し、1988年よりプロ活動始める。以来、様々なミュージシャンと共演、アルバムのプロデュースも手がける。洗練されたスラップ・テクニクで注目を集め、ジャンルやスタイルこだわらない活動を見せ続けている。

上間善一郎：2004年8月から5ヶ月にわたって、日本テレビ系「ズームイン!!SUPER」にて取り上げられ、全国47都道府県を自転車を使い、黄色い旗を目印に、ギター1本、弾き語りをしながら旅をして話題になる。その旅の中で出来た曲がアルバムとなり、『青春18路上きっぷ 全国47のうた』をリリース。アコースティック・サウンドに乗せた突き抜けるような歌声が、シンプルでいて聴く人全ての心を掴む。

【 南こうせつ 】 8月26日(金) 出演

1970年、「かぐや姫」でデビュー。「神田川」「赤ちょうちん」「妹」等、ミリオンセラーを数多く発表し、アルバムは6枚、ナンバーワンを記録する。1975年、かぐや姫解散後もソロでヒット作を発表する一方、深夜放送などでもそのユニークなキャラクターと巧みな語り口で、人気パーソナリティーとなる。又、静岡つま恋で開催されたオールナイトコンサートでは、吉田拓郎と共に6万人の若者を集め、その後も日本人アーティストとして初の武道館公演を成功させるなど、当時からビッグイベントのパイオニア的存在であった。

「南こうせつサマーピクニック」を10年間、「広島ピースコンサート」を10年間、また92年からは自然とのふれあいコンサート「GREEN PARADISE」を日比谷公会堂で現在まで毎年開催している。

99年暮れのNHK紅白歌合戦の出場をきっかけに、翌2000年5月～2001年1月にかけて、かぐや姫の22年ぶりのコンサートツアー「かぐや姫ベストドリーミン」を行い、各地で成功を収める。

2001年4月には、アーティスト活動30年間の集大成ともいべきリメイク・ベスト・アルバム「いつか来た道」をリリース。

デビュー以来、コンサート活動をベースに多くの支持を得てきたが、近年その活動領域は、多方面へと広がりをみせアーティストとしてだけではなく、一生活人として時代を見据える彼の姿勢は、大地に根ざした独自のライフスタイルと共に多くの共感と指示を得ている。

【 森山良子 】 8月31日(水) 出演

1967年「この広い野原いっぱい」でデビュー。その後、ミリオンセラー「禁じられた恋」をはじめとする数々のヒット曲を発売。透明感のある歌声と歌唱力で、名実ともに日本のトップシンガーに。

テレビドラマ出演やラジオパーソナリティーを18年間続けるなど多彩に活動。国内にとどまらずニューヨークカーネギーホール、ドイツ・フランクフルト、韓国・ソウル、アメリカ・ロサンゼルスなど海外でもコンサート活動を続ける。

第44回日本レコード大賞において「さとうきび畑」で最優秀歌唱賞と金賞を受賞、「涙そうそう」で作詩賞を受賞し、3冠を達成した。

昨年5月には、ジャズアルバム「The Jazz Singer」を引揚げ、名門NYブルーノートをはじめとするライブハウスをまわる「Ryoko Moriyama US Jazz Live Tour2004」を行い、好評を博す。

TBS系連続ドラマ日曜劇場「夫婦。」(出演：田村正和、黒木瞳 他)の主題歌「あなたが好きで」(作詞・作曲：森山良子/編曲：千住明)がオリコン24位に初登場。35年ぶりの自己初動記録更新となった。

12月29日に同曲を含むオリジナル・アルバム「あなたが好きで」を発売。

昨年末は、NHK世論調査の結果を経て2年連続9回目となる紅白歌合戦に出場。

1月22日東京・ルネこだいらを皮切りに「森山良子コンサートツアー2005」がスタート。